

GIGAスクール構想 伊賀モデル

～2年間の軌跡と3年目の挑戦～

伊賀市教育委員会事務局 学校教育課
指導主事 百地 大輔

伊賀モデル ～2年間の軌跡と3年目の挑戦～



引き出したいのは
子どもがハツとする「気づき」

タブレットPCが持つ素の力を活用して
子どもたちの学びを広げていく



伊賀市の軌跡

R2年度

- ・OS:Windows 10 Pro Education
- ・機種:dynabook K50を7,000台整備
- ・授業支援ソフト(ロイロノート)・ドリル教材(eライブラリ)の準備
- ・教員研修の実施(月1回程度)

R3年度

- ・4月からタブレットPCを活用した授業スタート
- ・9月からタブレットPCを持ち帰り、午後からMicrosoft Teamsを活用したオンライン学習スタート
- ・11月から平時の持ち帰り学習スタート

R4年度

- ・ICT活用推進校(成和西小学校・緑ヶ丘中学校)による研究発表会を実施
- ・常勤の教職員全員(650人程度)を対象とした参集&オンラインでのハイブリット講演会や管理職&担当者を対象にした研修会を実施
- ・授業を受け持つ教員全員を対象に、ロイロノート資料箱を活用した授業教材の共有を開始

伊賀市の取組

R3(1年目)

- ・教師、児童生徒ともにタブレットの日常的な活用
- ・さまざまな場面における活用方法の開拓
- ・タブレットPCによる「気づき」が起こる学びの効果の確認

R4(2年目)

- ・より効果的な活用方法の追及(各活用場面における要否の整理など)
- ・タブレットPC導入を契機とした授業改革→学習評価の充実へ
- ・持ち帰りを積極的に進めることで、学校と家庭の学習を切れ目なくつなぐ

R5(3年目)

- ・2年間で蓄積した学習記録の活用(学習評価の確立)
- ・学年や教科の境界を越えた(教科横断的)深い学びとその評価の実現
- ・次の3年間に向けた見直しや整備計画など

GIGAスクール構想 **伊賀**モデルとは…

そもそも

「学ぶ」とは？

ただ暗記するのではなく、

自ら考え、

「気づく」こと!

学びが起きる(気づきを得る)4シーン

1. 「みる／きく」とき

みる/きく

2. 「考える／かく」とき

考える/かく

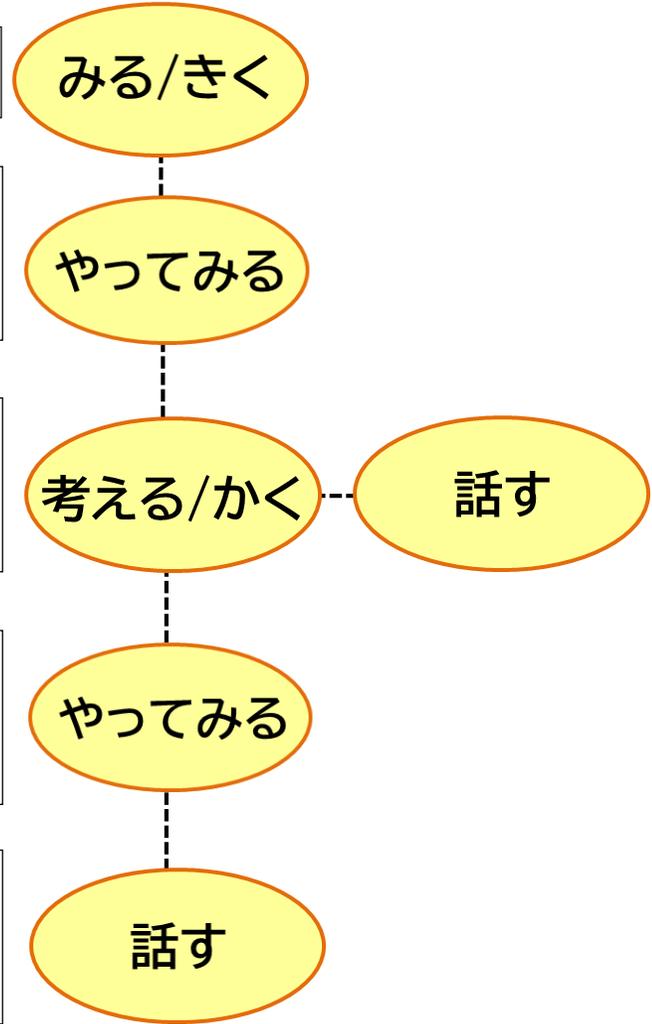
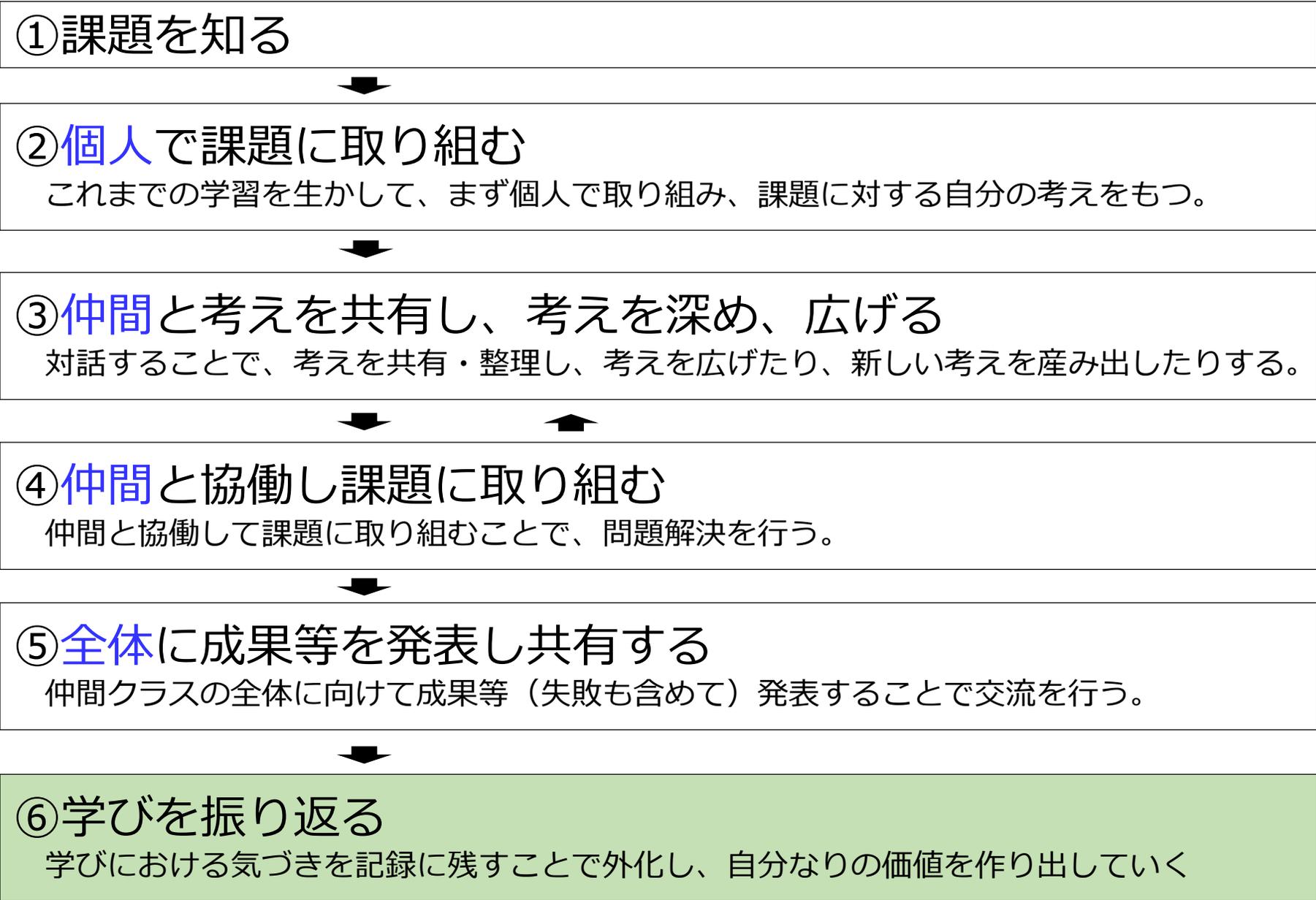
3. 「やってみる」とき

やってみる

4. 「話す」とき

話す

【伊賀モデル】 学習活動の流れ(6つのベーシックステップ)



伊賀モデルの実践事例

例：体育（実技）の授業

①先生からの課題を知る。

②実践。その様子をタブレットで録画する。

③タブレットを見なおし、個人で作戦を考える。

④考えた作戦をチームで伝え合う。仲間の意見を聞いて、自分の考えを見つめ直す。

⑤全体で考えた作戦と作戦前後の結果を交流する。

振り返る

みる
/きく

やってみる

考える
/かく

話す

話す



例：算数（図形）の授業①

①先生からの課題を知る。一人ひとりのタブレットにも配信される。

②いざ課題に挑戦。まずは自分で考える。

③その結果をタブレットに書き込む。

④ペアで意見を伝え合う。相手の意見を聞いて、再び自分の考えを見つめてみる。

⑤全体で考えたことを交流する。

振り返る

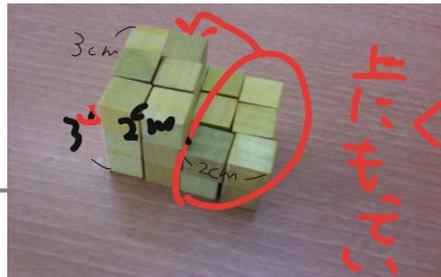
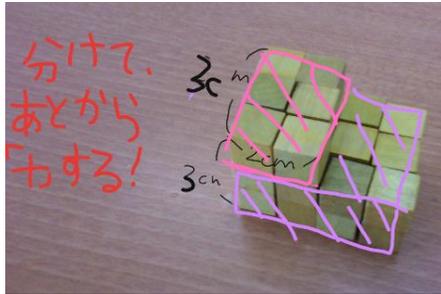
みる
/きく

やってみる

考える
/かく

話す

話す



例：算数（図形）の授業②

①先生からの課題を知る。一人ひとりのタブレットにも配信される。

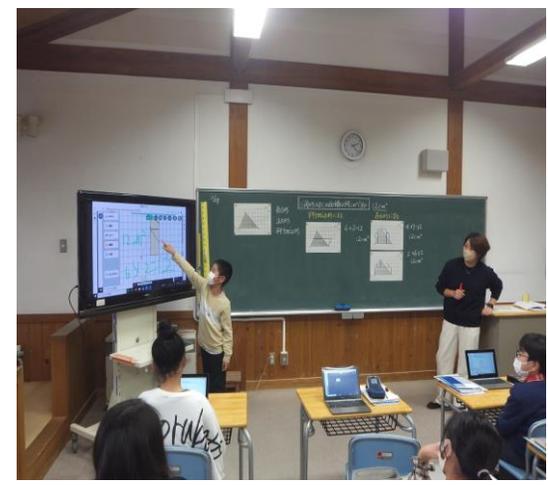
②いざ課題に挑戦。まずは自分で考える。

③その結果をタブレットに書き込む。

④ペアで意見を伝え合う。相手の意見を聞いて、再び自分の考えを見つめてみる。

⑤全体で考えたことを交流する。

振り返る

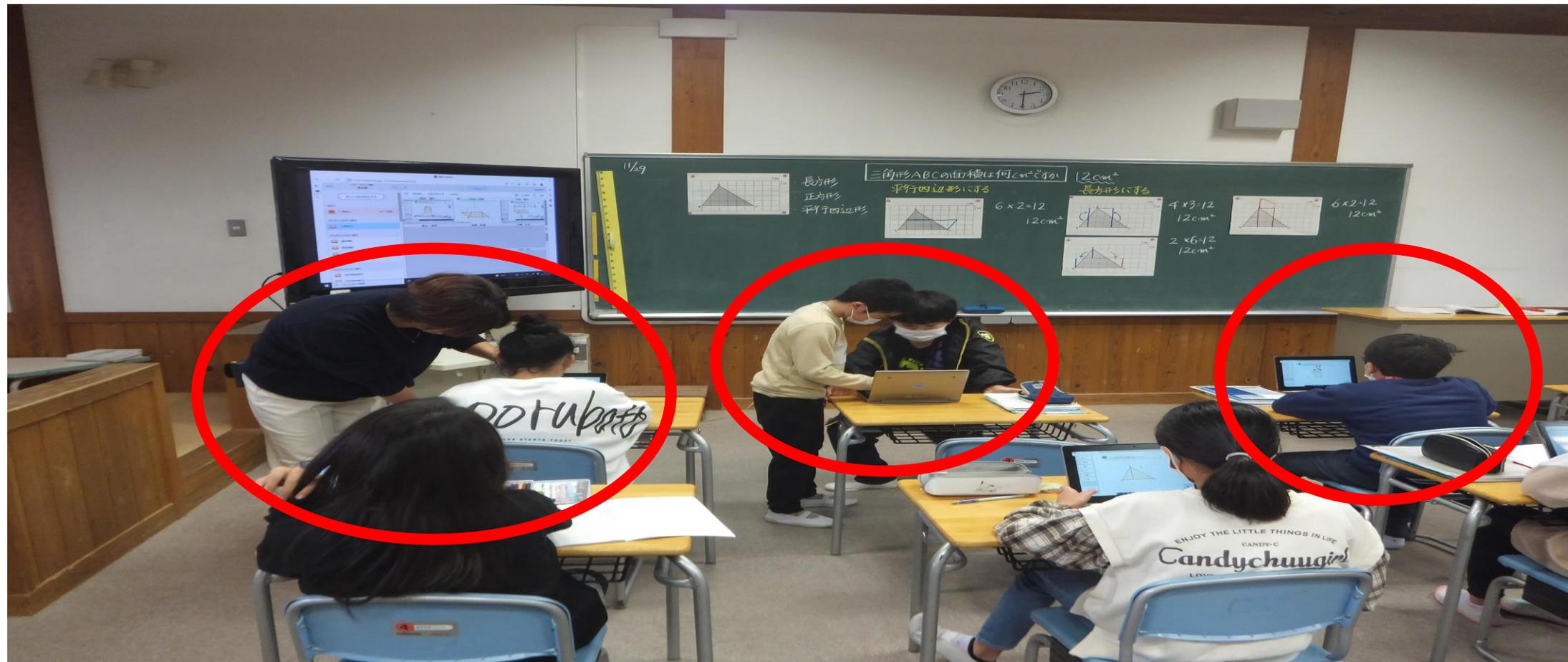


1 教室内に3つの学び

👉 教師との学び

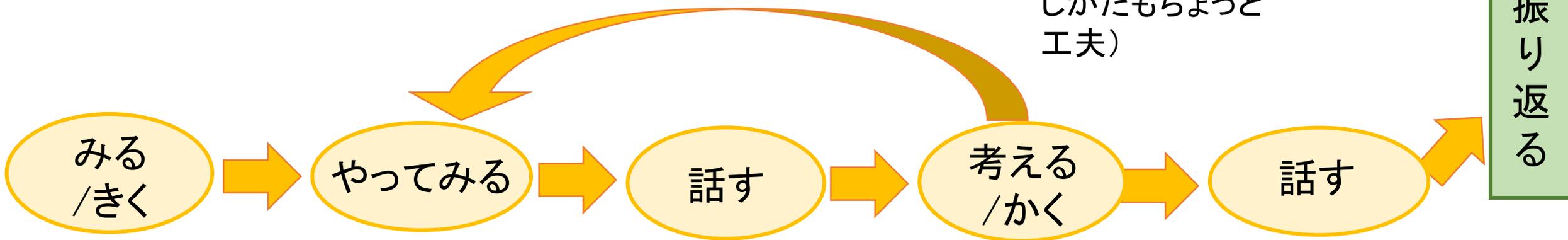
👉 ペアでの学び

👉 個の学び



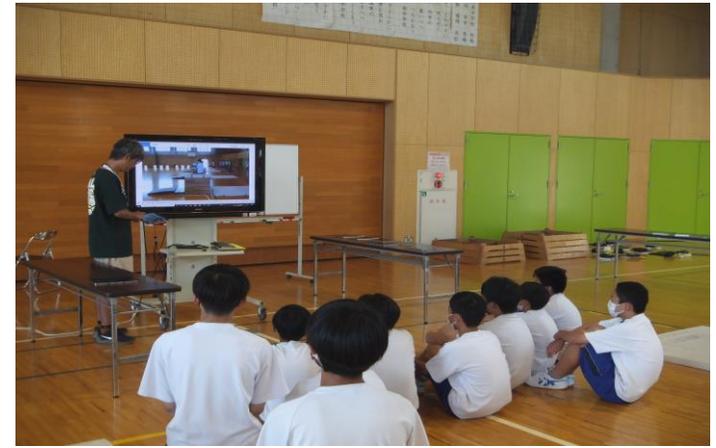
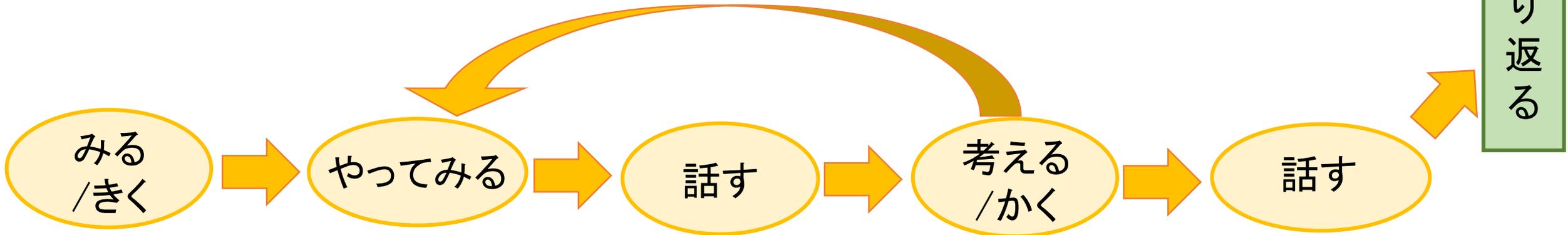
例：体育（マット運動）の授業

- ①先生から注意点を聞き、今日の課題を知る。 ②マット運動に挑戦。他の人が動画で撮影する。 ③動画を見ながら改善ポイントについて対話する。 ④対話をもとに成功のイメージをふくらませる。 ⑤再び挑戦。動画を見ながら対話する。（撮影のしかたもちょっと工夫） ⑥全体で経験したことを共有する。



例：体育（跳び箱）の授業

- ①先生から注意点を聞き、今日の課題を知る。 ②跳び箱に挑戦。他の人が動画で撮影する。
- ③動画を見ながら改善ポイントについて対話する。 ④対話をもとに成功のイメージをふくらませる。
- ⑤再び挑戦。動画を見ながら対話する。 ⑥全体で経験したことを共有する。



例：中学校 技術科の授業

①先生からの課題を知る。一人ひとりのタブレットにも配信される。

②いざ課題に挑戦。まずは自分で取り組む。

③グループで対話しながら検証していく。

④グループで意見を伝え合う。相手の意見を聞いて、再び自分の考えを見つめてみる。

⑤グループで話したことを生かして再度挑戦。

⑥全体で、グループの経験を共有する。

振り返る



タブレットPCを使った対話的な学び（小学校）



タブレットPCを使った対話的な学び（中学校）

